

プログラム

○開会あいさつ 環境省

○第1部 基調講演

【名古屋会場、広島会場】

廃棄物処理のマネジメントと戦略的連携（仮）

【講師】北九州市立大学 大学院 マネジメント研究科准教授 松永 裕己氏

1969年、佐賀県生まれ。九州大学大学院博士後期課程単位取得退学。北九州市立大学講師（1998年～）を経て、現職。専門は環境ビジネス、ソーシャルビジネス。「環境」と「ビジネス」という対極にあるように見えるものを両立させ、相互に発展させていくための方策を研究。著作に『「エコタウン」が地域ブランドになる時代』（共著：新評論）など。

【東京会場】

資源循環における企業・地域社会の連携（仮）

【講師】大東文化大学 環境創造学部 環境創造学科准教授 鶴田 佳史氏

名古屋市生まれ。大東文化大学環境創造学部准教授。専門研究分野は、環境経営、経営戦略論、SR、環境マネジメントシステム、カーボンマネジメントなど経営と持続可能性に関わる領域全般。これまでに、法政大学大学院環境マネジメント研究科客員准教授、環境省「コベネフィット型温暖化対策・CDMの推進に関する検討会」委員、国土交通省「日ASEAN交通連携環境行動計画に関する検討会」委員、埼玉県「環境マネジメントシステム評価委員会」委員、東京商工会議所「eco検定アワード2015」審査委員長、南砺市「域学連携」実行委員会監事、環境経営学会幹事等を歴任。エコアクション21審査人、KES環境マネジメントシステム・スタンダード主幹審査員、環境カウンセラー（市民部門・事業者部門）。

主な著書は、『よくわかる環境経営』ミネルヴァ書房（編著者）、『カーボン・デイスクロージャー』税務経理協会（編著書）、『サステナビリティと経営学』ミネルヴァ書房（共著）、『現代CSR経営要論』創成社（共著）など。

○第2部 優良事例プレゼンテーション

各会場において、排出事業者と産業廃棄物処理事業者との連携に係る優良事例を紹介いたします。

○第3部 ワークショップ 「信頼につながる連携のカタチ」

日々の廃棄物処理業務の中で、問題に感じる排出事業者／処理業者の対応について、どのように対応するか、また排出事業者／処理業者はどうすべきだったかを検証し、信頼につながる連携のためのあるべき排出事業者像／処理業者像について意見交換を行います。

<プログラム>

- ・ 自己紹介・アイスブレイク (20分)
- ・ グループワーク (90分)
- ・ プレゼンテーション (各グループ3分程度)
- ・ フィードバック・「気付き」の共有 (10分)

※ワークショップは6つのグループに分かれて行い、進行はファシリテーターが担当します。

○講評

<注意事項>

- ・ カリキュラム・講師は変更となる可能性がございます。
- ・ 天候によって、開催を中止、または延期させていただく場合がございます。
- ・ 講義の録音、撮影はご遠慮ください。
- ・ メディアの取材・撮影が入る場合がございます。